13163 保育実習Ⅲ Nursery School Education Practicum III		3年次～ 通年 2単位	
担当者	大島 孝子／飛田 隆／中島 美那子	履修可能学科	Pc
		関連資格	保育選必(Pc)
サブタイトル	保育実習ⅠBを通して学んだことをふまえての児童福祉施設における保育実習		
授業内容 ・ ねらい	保育実習ⅠBを通して学んだことおよび自己の課題をふまえて、保育士として必要な専門的知識・技術を体験的に学ぶ。 1. 保育全般に参加し、保育の方法や技術を習得する。 2. 施設利用者個々の特徴（入所の経緯、生育歴、性格、障害の内容・程度、人間関係等）を理解し、一人ひとりに合った養護計画・援助方法を立案し、準備や指導を通して具体的に学ぶ。 3. 保育士の職務内容・役割を念頭に置くとともに、職員間の協力と連携の方法およびそのあり方を学ぶ。 4. 理論と技術が実践の場でいかに具体化され、統合されるかを考え、今後の学習課題を明確にする。 5. 実習生として社会に関わる責任を自覚し、ふさわしい行動様式を身につけて実践する。		
授業計画	(1)事前準備 事前に細菌検査をすませる。また、実習施設を事前に訪問し、オリエンテーションを受ける。『保育実習の手引き』は熟読しておく。 (2)事前指導 保育実習ⅠBをふまえた自己課題の明確化、実習日誌、指導案等に関する実習指導を受ける。 (3)実習 指定の12日間に施設実習を行う。実習の進め方に関しては実習施設の指示に従う。 (4)事後指導 実習終了直後に、実習先への礼状を出す。また、実習での学習事項、反省、課題などに関する事後報告レポートを作成する。		
教科書 参考書	必要に応じ、「事前・事後指導」の中で紹介する。		
評価方法	実習施設の評価および実習日誌・実習終了後のレポート等を総合的に評価する。		
事前準備学習 履修条件等	保育実習ⅠBを履修済みであることが必要。 利用者の人権を尊重し、プライバシーの守秘義務、とくに記録等の取り扱いについては細心の注意を払わなければならない。		